

かご付き巾着バッグ



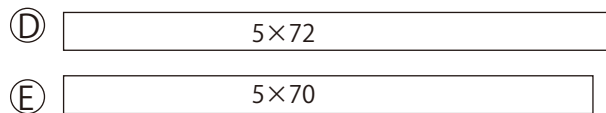
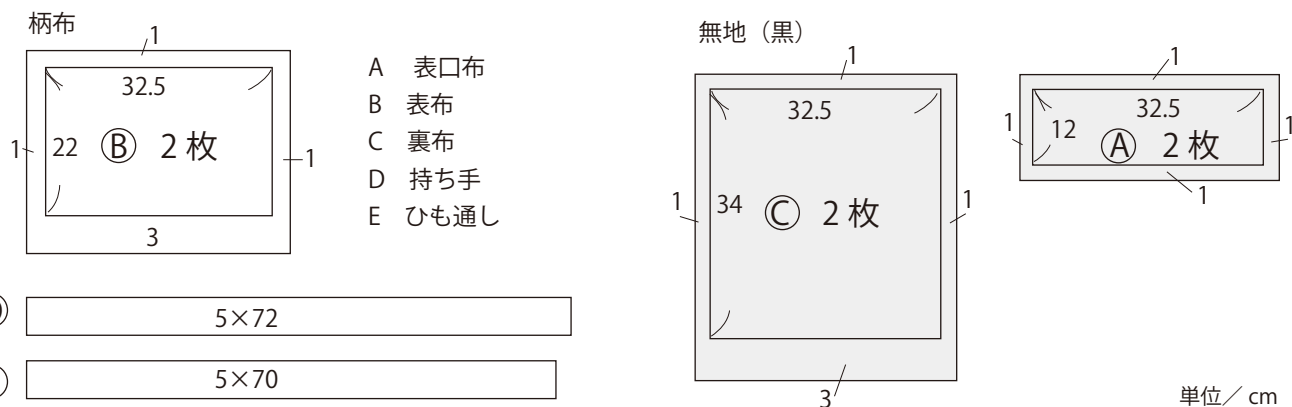
デザイン/高橋真由美

市販のカゴに布をつけてバッグにします。お使いになるカゴを採寸して、カゴに合わせてお作りください。ここでは外周が 65cm のカゴを使用しています。

<作り方>

●巾着バッグ本体をつくる

①生地を下図のように準備します。A、B、C は 2 枚裁ちます。



単位/cm

<用具>

布切はさみ、方眼定規
アイロン定規<ロング>
スピードゴム通し<クリップ式>
ループ返し
水性チャコペンほか
ソーイング用品

テープメーカー 25mm幅

アジア結美 Cボタン結び
アジア結美 Dあわじ玉

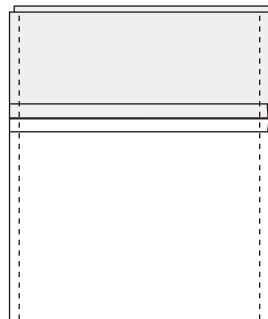
つまみ細工プレート

丸ひだつまみ L
剣ひだつまみ S
菱つまみ L

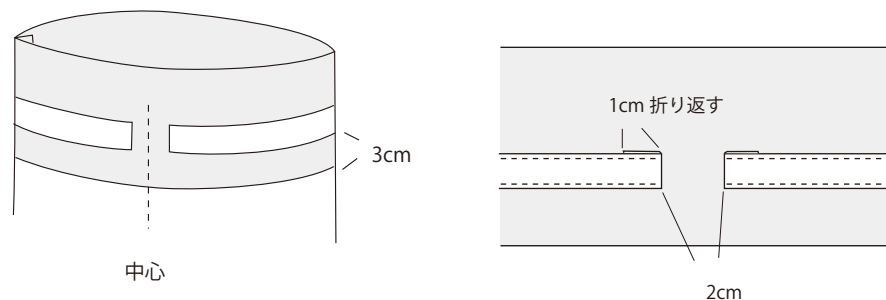
<材料>

柄布 約75cm×50cm
無地(黒) 約70cm×65cm
サテン無地 約70cm×20cm
ガラ芯6mm 36cm
結び用コード(白) 2.8m
たこ糸、手芸用ボンド、布用ボンド、
ぬい糸
かご
フェルト 5×5cm
ブローチピン 1個

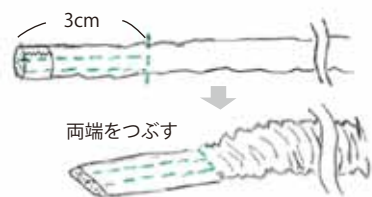
②A と B の布をはぎ合わせ、二枚合わせて両端を縫います。



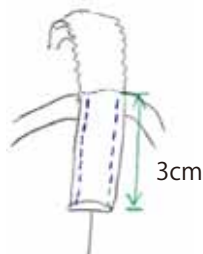
- ③Eの布をテープメーカーに通して25mm幅のテープを作ります。
 ※テープ用の布は、バイアスでなく布目に裁ちます。
 ④②を表に返して、③のテープを下図のように縫いつけます。
 袋上部のぬいしろ(1cm)をアイロン定規で折り目をつけておきます。



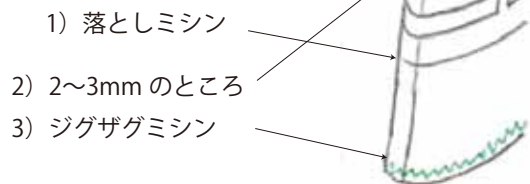
- ⑤D布を中表にして折り、5mmのところを縫い、ループ返しで返します。
 ガラ芯の先にセロテープを巻き、
 スピードゴム通しで通します。
 両端3cmのところを二本縫い目を入れ
 平らにします。
 ギャザーを寄せた持ち手のできあがりです。



- ⑥Cの裏布の両脇を縫い筒状にします。袋上部のぬいしろ(1cm)をアイロン定規で折り目をつけておきます。
 C布の裏側に持ち手のつづした3cmを目安に
 袋の縫い目を中心に縫いつけます。



- ⑦④の表布と⑥の裏布を外表に合わせ(持ち手の付け根にしつけをしておくとうい)AとBのはぎ合わせ目に
 落としミシンをし、入れ口部分を縫いあわせ、
 底の部分にジグザグミシンを一周かけます。








- ⑧カゴに袋をつけます。
 カゴのフチを包むようにして、布とカゴとを手で
 縫いとめていきます。カゴの目の穴を利用して
 縫いましょう。
 補強のために、ぬい目の上に
 たこ糸で二重にしっかり巻いて固結びにします。
 袋を返したら、巾着バッグ本体の完成です。

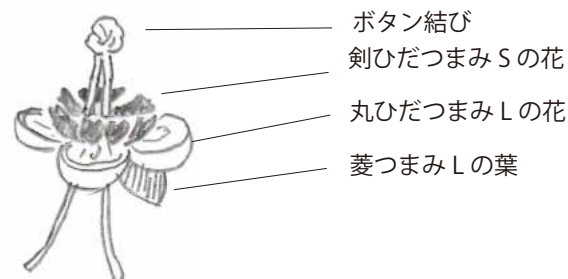


●コサージュをつくる

- ①各パーツを作ります。

-  無地(黒)と柄布を三角に折り、外側が無地になるよう重ねて、丸ひだつまみL 5枚の花をつくります。
-  サテン無地で、剣ひだつまみS 10枚の花をつくります。
-  サテン無地で、菱つまみLの葉を二枚つくります。
-  フェルトを直径5cmの円に切り、ブローチピンを縫いつけます。台座になります。
-  結び用コード50cmとアジア結美Cボタン結びでボタン結びをつくります。
 ※アジア結美の作り方は商品添付の説明書をご覧ください。

- ②重ねあわせます。剣ひだと丸ひだの花の中央にボタン結びの足を通します。



③結びの足の端をを写真 A のように結びます。結び目をお花の裏側の中心の穴溝に入れて（写真 B）縫いかがります。このとき、ループを葉のように見立てて形作ります。



④コードの位置が決まったら、ボンドをつけ、しっかり固定し、フェルトの台座を裏面に縫いとめます。



●仕上げ

①結び用コードを 90cm カットし（必要があれば端にほつれ止めの始末をします）、巾着バッグのひも通しに通し、両端から 3cm のところにひと結びの結び目をつくります。



端から 3cm のところにひと結び

②結び用コード 70cm×2 本とアジア結美 D あわじ玉で、あわじ玉結びを 2 個作ります。コードの両端は切らずにそのままにします。

※アジア結美の作り方は商品添付の説明書をご覧ください。

③あわじ玉をコードに通し、結び目の上で結び目がかくれるように引き締めます。位置が決まったらあわじ玉の余分なコードをカットし切り口をボンド（乾くと透明になるタイプ）で止めます。

巾着バッグ本体にコサージュをつけて、できあがりです。

